

平成26年度あきた型学校評価

秋田県立能代養護学校

評価領域

地域と学校が共に学び支え合う教育活動

重点目標	教育プラン（目標3） 共生社会を目指した地域における多様な教育活動の推進		P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>「拓く」の教育目標のもと、地域とのつながりを特に大切にしたい学校づくりを行っている。小学部・中学部・高等部がそれぞれ、地域のために自分たちができることを考え、積極的に地域に出て行き、地域を活性化させることを目標にして取り組んでいる。</li> </ul>		
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと能代や能代の特産品などのPRのために自分たちができることを考え、実行する。</li> <li>能代のお祭りの運営に協力する。</li> </ul>		
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>能代観光協会と連携し、PR活動の進め方を教えていただく。</li> <li>秋田DCおもてなしスタッフや、能代クリーンパートナーに登録し観光客へのおもてなしや環境美化に努める。</li> <li>さまざまな場面や場所を活用して、能代のPR活動を行う。</li> </ul>		
具体的な取組状況と達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部や中学部は、能代クリーンパートナーとして能代駅周辺や市立体育館周辺のごみ拾いを行い、おもてなし環境美化に努めた。</li> <li>高等部1年生は、能代駅でリゾートしらかみ号に乗車している観光客に向かって笑顔とお手ふり、小学部は観光PRのぼりを寄贈した。</li> <li>天空の不夜城や、のしろまち灯りのボランティアとして、能代の祭りを盛り上げるために協力した。</li> <li>高等部3年生は、修学旅行の目玉として、旅行先の京都駅内での能代観光PR販売を企画し、檜山茶の試飲や特産品の販売、観光パンフレット配りを行った。事前学習では秋田駅ぼぼろードでも同様の活動を行い、自信を付けて修学旅行に向かうことができた。</li> </ul>		D
自己評価	(評価) A	(根拠) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における多様な活動を高等部生が牽引し、学校全体が何らかの形で地域の中で活動し、役に立つ喜びを感じることができた。</li> <li>特産物の加工品のアイディア（檜山茶っぷりん）が認められ、市長さんから絶賛された。</li> <li>地域活動の新聞掲載 → 28回</li> </ul>	C
↑ 評価基準 ↓ A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない			
学校関係者評価と意見	(評価) A	(意見) <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞や学校からのおたよりで、児童生徒が地域の中で生き生きと活動する様子が伝わってきます。</li> <li>共生社会の土台づくりを、ぜひ学校にいる間に実践してください。</li> </ul>	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度20周年の節目を終え、開校から今まで地域の皆様から支えられて歩んできた学校であることを実感した。これまで支えられてきたことに感謝し、これからは「地域の元気を能代養護学校から」を合い言葉に、地域貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。</li> <li>小学部から高等部までの、地域を学びの場とした学習活動を、教育課程にどのように位置付けていくかについて、次年度の研究指定校としての実践と併せて明らかにしていきたい。</li> </ul>		A